

# 平成26年度 公益財団法人大阪市博物館協会の外部評価

## 大阪文化財研究所の運営状況(総括)

## 【自己評価シート1】《改訂版》

### 館・所の使命

30年をこえる遺跡の考古学的調査を活かした確かな知識と技術にもとづき、文化財の幅広く総合的な調査研究を行い、その成果を広く発信する

国民共有の財産であり地域の歴史的遺産である文化財や遺跡、そこから生まれたさまざまな資料を収集・保管し、未来へ継承することに貢献する

文化財とその調査研究成果を活かした多彩な教育普及事業を展開し、地域や学校・市民サークルなど多様なパートナーと協働する

蓄積された資料と成果、人材と技術、大阪歴史博物館などでの実績を活かし、博物館・美術館の機能の向上をはかる

国内・海外の調査研究機関との交流と連携を深め、その成果を文化財事業や博物館・美術館に活かす

幅広い経営基盤を開拓し、経営の安定に努める

### 指定管理期間の重点目標

適正な発掘調査を行い、報告書を刊行する

外部資金の獲得や公開を積極的に進め、保存科学を始めとする文化財の研究活動を活性化させる

出土品や調査記録などの発掘調査成果や、文化財関連図書などの資料を適正に保管管理し、活用に資する

発掘調査現場や出土品の公開、その研究にもとづく教育普及事業を市民や地域と連携しながら進め、文化財の普及に努める

文化財に係る情報発信と教育普及事業の広報に努める

### 運営状況の指標

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
職員総数(7/1現在)	30	28	28	28
市派遣職員	0	0	0	0
固有職員	21	19	19	19
契約職員	1	2	4	4
嘱託職員	8	7	5	5
発掘調査事業				
契約件数	138	156	157	205
面積(m <sup>2</sup> )	33,425	16,202	17,333	18,610
受託額(千円)	1,180,150	563,281	672,018	445,913
報告書作成				
冊数	18	34	18	18
受託額(千円)	114,385	177,128	81,967	154,709
普及事業参加者	11,127	11,165	10,112	27,639
発掘調査の公開	3回/2,300人	3回/1,650人	4回/2,380人	3回/14,930
その他事業参加者数 ※	8,827人	9,515人	7,732人	12,709
収入総額(千円)	1,380,487	838,356	940,859	819,698
市からの委託費	—	—	—	—
自己収入	—	—	—	—
支出総額(千円)	1,380,505	838,756	932,172	730,457
管理費	—	—	—	—
事業費	—	—	—	—
収支差額(千円)	▲ 18	▲ 400	8,687	89,241

### 《備考》 ※ 「その他事業」の主な事業名

- 金曜歴史講座、設立30周年記念講演会、国際シンポジウム「古代の難波と新羅」、シンポジウム「大阪上町台地から都市を考え
- 市民・地域連携事業(ワークショップ参加)「難波宮フェスタ」、「長原古代市」、「中央区民祭」、「大阪あきない祭」ほか
- 市民・地域連携事業(講座企画・講師派遣)「平野区誌出版記念講座(5回)→H25年度から平野区歴史講座」、「いちょう
- 難波宮跡公園案内・調査事務所展示室見学対応